

行雲流水

No.329 令和5年7月31日発行

夏休みを有効につかおう！！

校長 寒河江 正人

自分自身としっかり向き合い、「やる気と自信の芽」を育てよう！

夏休みは、1年間における大切な「ターニング・ポイント」だ。

3年生にとっては、「**来春4月からの進路の扉**」を自力で開く準備が本格化する。

1・2年生にとっても、「**2学期の成長・飛躍**」に向けて、**弾みをつけたいタイミング**だ。

長期の休業日を迎える前は、いろんなことができるだろうと「ワクワク」期待が膨らむ。この「**ワクワク感**」が、大切なのだ。

「**ワクワク感**」は、**がんばろうとする「やる気**」を起こす「**スイッチ**」になり得るからだ。

この「**ワクワク**」が新鮮なうちに、一步前進する「**夏の1アクション**」をおすすめする。

この夏、**何か1つ、小さなこと**でいいから、**自分で決めて、しっかりとやり遂げてみよう！**
早朝の**ランニング**でもいい、バットの**素振り**でもいい、**読書**でもいい、数学の**ドリル学習**でもいい、英語の**長文読解**でもいい、**お手伝い**でもいい。

「**自分で決めて、自分でやり遂げる**」と、それが「**確かな自信（経験）**」になる。

何か1つ、「やれば、できる。」という経験が、次の「やる気エネルギー」を生み出すのだ。

この「**やる気エネルギー**」は、決して誰か他の人から、与えてもらえるものではない。

それを生み出すのは、生徒諸君一人ひとり、「**きみ自身**」なのだ。

「亀の歩みは、鈍いが確かである。

ただ一心に目標を見つめ、一步、また一步と確実に歩み続けるのみ！」

「大切なのは、目指す地点が、ぶれないこと。

少しでも、前進することを意識していれば、

確実に目標は、近づくのだと信じる心があなたを強くする！！」